

仙台市科学館 蒲生調査レポート 速報版

No.321

〒981-0903 仙台市青葉区台原森林公園4番1号 仙台市科学館 事業係

2022.8.6

TEL:022-276-2201 FAX:022-276-2204 http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/

カニでにぎわう干潟

■多くの稚ガニ

今回の調査では、様々なカニを観察した。甲幅 $2 \, \text{mm}$ 程度のコメツキガニの稚ガニが数多く見られた (Fig.1)。ガザミは甲幅 $4 \sim 7 \, \text{mm}$ の個体が観察された (Fig.2)。柔らかい泥地ではヤマトオサガニ (Fig.3)が、固めの泥地ではチゴガニ (Fig.4)が数多く観察され、それぞれが好む環境が維持されているのが確認できた。

昨年のこの時期には、マゴチの稚魚を数多く採集したが(レポートNo.274参照)、今回の調査では採集することができなかった。ほかの魚類も採集することはできず、ボラの稚魚を観察した程度であった。調査時の潮位が高く、魚類が生息する場所まで入れなかった可能性も考えられる。



(Fig.1 コメツキガニ)



(Fig.2 ガザミ 甲幅 5 mm)



(Fig.3 ヤマトオサガニ)



(Fig.4 チゴガニ)

■サギの群れ

宮城野区港2丁目3(キリンビール仙台工場南側)に多くのサギが集まっていた。震災前は蒲生干潟に多く集まっていたが(レポートNo.1参照),現在その場所にはまだ戻ることはできていない。樹木の生長には時間がかかり,環境の回復にはまだまだ時間がかかることを感じさせる。



(Fig.5 サギの群れ)

(佐藤 賢治)